

女子仲西3連覇

■ ハンドボール
 (浦添市民体育館)

【男子】		美		浦	
浦	添	東	美	添	東
26	26	28	28	38	38
17	9	14	16	17	21
9	11	12	14	15	12
20	仲	26	浦	27	美
西					
【女子】		美		浦	
仲	西	東	美	添	東
24	24	25	25	38	38
10	14	9	16	17	21
11	8	13	6	15	12
19	神	19	港	27	美
森		川			

積極守備流れ呼ぶ

女子仲西は序盤から、慶ず、みんなに助けしてもらったと胸をなで下ろ田花知と池間泉紀が駆け回った」と上地。後半は自らパスを要求するなど積極的に攻撃参加。「きつい時に自分九州制覇と、全国での活躍はエース上地涼奈が高さと分が決めることができよう誓った。(石川亮太)



女子決勝 仲西・神森 後半、仲西の上地涼奈が17点目のシュートを決める

「前半は役割を果たせ

平安山笑奈主将は「後半に点差を詰められてきつかったが、最後までみんな頑張れた」と、3連覇を喜ぶ。池間は「ディフェンスで前で当たることができ、それがいい攻撃につながった」と、5得点で勝利に貢献した。

浦添、22年ぶり栄冠

男子浦添は、序盤で美東の速さとテクニックに押され、リードを許す場面もあったが、前半途中からエース川上勝太、宮城大樹らが高さでパワーを生かして連続得点し、前半で9点リード。後半も安定した試合運びで、38-27で22年ぶりの栄冠を手にした。チーム最多10得点の川上は、「前半はミスが多かったとまずは反省の弁。さらに九州・全国大会を見据え、「目標は全国制覇。まずは九州大会で全国優勝した滝尾(大分県)を相手に自分たちがどれだけできるか試してみたい。自分の体格を生かして、相手が怖がるようなプレーをしたい」と意気込む。

東江正作コーチは「もう少しディフェンスの役割分担を明確にしないとダメだし、攻撃の精度を上げれば、さらに強くなる。このチームはまだ伸びしろがある」と、さらなる成長に期待を込めた。



男子決勝 浦添-美東 後半、浦添の川上勝太が23点目のシュートを決める